



国際ロータリー第2750地区  
東京多摩グリーンロータリークラブ

2022-2023 年度

# 会報

原点回帰



2022. 10. 26 第1440回 例会

No. 36-12

2022. 11. 09 発行

【司会】 SAA・親睦委員会 三田みよ子

◎開会点鐘 副会長 菊池 敏

◎ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱  
ソングリーダー 副会長 菊池 敏

◎お客様紹介 副会長 菊池 敏

東京多摩ロータリークラブ会長 石塚 悦信 様

本日は理事会でお話したことを申し上げます。事務局の松下さんについて経過を報告します。みなさまご存じとは思いますが、先週10月19日例会終了後に事務局にて体調不良となり南部地域病院に緊急搬送されました。その後立川医療センターに入院、そしてそのあと10月21日退院となりました。現在自宅療養中です。個人情報観点からお伝えが遅くなりましたが体調も少しずつ回復しております。今後は会長幹事と相談しながら対応していきたいと思っております。



◎幹事報告 幹事 大槻 一夫

みなさまこんばんは。石塚会長お忙しい中ありがとうございます。本日は第1439回の会報作成が間に合っておりません。次回の例会時にお配りさせていただきます。

## 【 委員会報告・その他 】

◎各委員会報告米山学友委員会 田崎 博実 委員

◎会務報告 副会長 菊池 敏



地区の米山学友委員会の委員をさせて頂いている田崎です。この日曜日と月曜日に米山奨学生20名を引率しまして、名古屋・伊勢の旅に行っていました。

京王プラザホテル多摩 例会日 水曜日 12:30~ 月最終例会 18:30~  
事務局 〒206-0033  
多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号  
TEL 042R-372-6463 FAX 042-372-6491 Eメール [tokyotamagr@gmail.com](mailto:tokyotamagr@gmail.com)

会長 堤香苗 幹事 大槻一夫  
会報・記録委員長 田崎博実 副委員長 三田みよ子  
委員 森本由美 入沢修自 福岡均 遠藤二郎 田村豊 伊藤綾乃  
HP: <https://www.tama-green.jp/>

具体的に行った場所は、名古屋の方が徳川美術館、名古屋城、伊勢の方は伊勢神宮、外宮と内宮両方参拝して、実は、多摩東グループの府中に大國霊神社があり、猿渡元ガバナーがこちらの伊勢神宮と懇意にされておりました、そのはからいもあって特別参拝もさせていただきました。神楽奉納も見せてもらいました。大変充実した研修旅行になりました。本日お配りしたお煎餅、ちょっとお土産で買って参りました。ささやかではありますが、お召しあがってみてください。

まち美化担当

林田 敏誠 会員

まち美化活動が明日から始まります。我々当クラブは、土曜日の多摩センターに集まって頂き、1時間ほど清掃して頂ければと思います。時間はメールでお流しします。参加される方5名ほどいたと思います。時間の間違いのないよう宜しくお願いします。

◎出席報告

出席奨励委員会 初野 有人

会員総数	22名	
出席義務免除者	5名	
出席者数		
出席義務者	10名	
出席免除者	3名	
	計 13名	出席率 13/22 50.00%

◎ニコニコBOX SAA・親睦委員会 初野 有人

菊池 敏 石塚会長ようこそ  
 大槻 一夫 石塚会長 卓話宜しくお願いいたします  
 村上 久 皆さん今晚わ  
 森本 由美 石塚さま卓話よろしく願いいたします  
 足立潤三郎 石塚会長 卓話よろしく願います  
 今日の夜間例会人数すくないね  
 さびしいね  
 林田 敏誠 寒暖差が厳しいですね！  
 田崎 博実 石塚会長 ようこそ  
 福岡 均 みなさま こんばんは！  
 杉山 真一 シャーロット日本は寒くなったでしょう！！  
 三田みよ子 寒くなりましたね  
 インフルエンザ予防接種してきました  
 伊澤ケイ子 石塚会長ありがとうございます  
 シャーロットようこそ

入沢 修自 寒い中 石塚会長ありがとうございます  
 初野 有人 多摩ロータリークラブ石塚会長 おいそがしい中ありがとうございます

本日の合計

¥18,000 (累計250,000円)

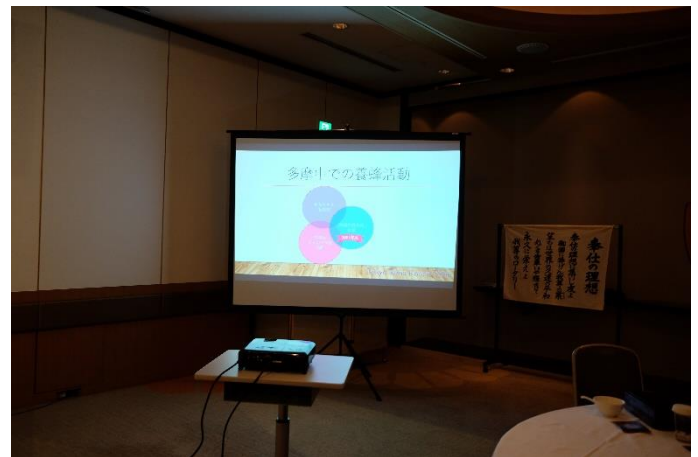
【卓話】

司会 大槻 一夫

議題

「東京多摩ロータリークラブにおける奉仕活動」

東京多摩ロータリークラブ会長 いしづか よしのぶ 石塚 悦信 様



みなさまこんばんは。東京多摩ロータリークラブの会長を仰せつかっている石塚悦信です。本来でしたら本年度始まったときにお伺いせねばならなかったところ、私体調崩しまして何うこと出来ませんでしたのと、我々のクラブの奉仕活動どういことをやっているかということ、みなさんにご紹介してですね、もしご興味もたれましたら、その奉仕活動と一緒に参加して頂けるような機会があれば良いなあとずっと考えておりました、そのために伺いました。

その前に私の簡単な自己紹介をさせていただきます。私は農学部のある大学に行きまして、大学3年で研究室を選ばなければならないときに、その大学はたまたまコスモスカニホンミツバチが有名だったので、どちらか選んで入れれば後々自慢できるのではないかという安易な気持ちで研究室を選んで、ミツバチの方の研究室に入りました。3年の時はミツバチの行動観察を、

ハンディカムを持ってずっと蜂がどこにいるのか追っ  
てた訳ですね。それまで全然ミツバチに触れたことが  
なかったの、それを知るためにずっとミツバチを四  
六時中追っかけてて。

ニホンミツバチは日本にずっと住んでいて、スズメ  
バチに対する対処法を独自に開発というか自分たちで  
もってきた蜂なのです。テレビでもよく紹介されてい  
るのでご存じの方もいるかと思うんですが、ニホンミ  
ツバチはオオスズメバチが来たときに、巣の中の仲間  
に一斉に知らせることができる。いろんな情報能力を  
持っていてまだ解明されていない部分もあるのですが、  
巣に外敵が来たぞ・じゃあやっつけようということで、  
一斉にオオスズメバチに飛びかかって、蜂団子、団子  
状態にして熱殺で、一斉にお腹を震わせて、温度をど  
んどん40度近くまで上げていってオオスズメバチを  
殺すことができる。大体37度でオオスズメバチは死  
んでしまいます。ただニホンミツバチも39度までい  
くと自分たちも死んでしまう諸刃の剣なのですが、オ  
オスズメバチも偵察をして、それが帰ってしまうとス  
ズメバチも伝達してみんな来てしまうので、ニホン  
ミツバチは偵察に来た一匹を必ず仕留めるという機能  
術をもっています。

そういうミツバチの行動をずっと追っていたのです  
が、私も暑い炎天下のなかでビデオを持ちながら追っ  
ていまして、そうしている内に、ビデオのズームなの  
か自分が近寄っているのかという遠近感がだんだん分  
からなくなって、ビデオを持ったままミツバチの巣箱  
に突っ込んでしまった。ハチが沢山出てきてしまっ  
て、ものすごく刺されました。大学教授も、これ以上刺さ  
れるとアレルギー反応が出てしまうのではないかと  
いうことで、大学4年の時に、蜂の研究はやめさせら  
れました。

卒論の時には、同学部なので農業に使える虫何かな  
いかとずっと探して、テントウムシが有名だったりウ  
スバカゲロウが有名だったりするんですね。幼虫が野  
菜につく虫を食べてくれる。天敵を利用した栽培方法

を見つけるということです。何か他にないかと探した  
私は、嫌われ者の見方という訳ではないですが、カメ  
ムシを研究に選びました。私が選んだカメムシはです  
ね、カメムシは蟬の仲間なのですが、お腹側に長いス  
トローを隠し持っているんです。そのストローです  
ね、幼虫が来るとそのストローを出して、幼虫に刺し  
て体液を吸うっていうカメムシがいて、またその幼虫  
も人間の食べるほうれん草や白菜を食べてしまうので、  
そのカメムシを使って幼虫を駆除するような研究とい



うことで、ハチとは離れてカメムシで卒論は終わった  
ということで、そういう経緯が大学ではありました。

実家が幼稚園なものなので、私はそのまま実家の幼  
稚園を継いで今も実家の幼稚園で働いています。父が  
昔府中のロータリアンだったので、お前もそろそ  
ろ世間知らずなのだから世の中勉強してきなさいとい  
うことで、ロータリーを勧められて入会する気になり  
ました。私の妻の父親、義理の父もロータリアンで、  
今、東京東ロータリーの会長をやっていて、たまたま  
私も会長なので、同じ時期に会長をやっています。私  
誰からも紹介を受けて入ったのではなく、近くでたま  
たま、お寿司屋さんでなんか集まっているクラブがあ  
るよということと、それまでずっと府中に住んでいた  
のですが、たまたま聖蹟に引っ越したタイミングで、  
そういった話を聞いたので、入会させて頂いたとい  
うのが経緯です。それがちょうど5年くらい前なん  
ですが、その時にもイニシエーションスピーチで蜂の話  
をしました。その時に会長が、小早川さんの前、小  
暮さんでしたが、そんなに蜂のこと知ってるなら、蜂

をもっと奉仕活動で使っていこうよという話しが一度持ち上がりました。私はまた蜂に刺されてはならないので、お断りしました。

そういう流れで蜂の話しが出たり引っ込んだりしたのですが、たまたま三年前に近くの多摩中学校で養蜂をやりたい・始めたいという話がありました。ただ予算が全然ないので、何とか予算が取れるところを見つけてくれないかという話がありまして、それを聞いたメンバーがここに奉仕していかないか？ということで、今からお話しする奉仕活動が始まりました。しかし実際に活動するのではなくお金だけの支援で良いのではないかと最初は思っていたのですが、今はもう全然、毎週一度は私が巣箱に行って蜂を見ている状況ですので、刺されたら死ぬかも知れませんがそれでも段々楽しくなっています。

3年前、ロータリーは機会の扉を開く年ですから、福原ガバナーの年に始めました。多摩中での養蜂活動はいろんな人が関わることで、とても良い効果が出てきています。校長先生や教師陣、中学生だけだと、異動があったり生徒が卒業したりで、蜂の知識がなくなってしまう、受け継がれなくなってしまうんですが、新しい人に新たに教育して行かなければならないんですが、多摩中の良いところは、地域学校協働本部という組織があって、その人たちがずっと多摩中学校に携わってくれて、いつも知識を引き出してきてくれるので養蜂にすごく適している状況です。関わってくれているチャレンジ部F組というのが、情緒の障害のあるクラスで、我々がここに奉仕することにしたのも、青少年奉仕として情緒の不安定な生徒にも何か良い機会を与えられるんじゃないか、という期待のもとに、この活動を選んだというものの一つの要因です。地域学校協働本部は文科省も認めている組織で、中学生にいろんな体験をさせてあげようとしている団体です。着付け体験や流しそうめんなど、勉強や運動・スポーツだけではなく、いろんな機会を与えています。多摩中の校長先生が教育長でもある千葉先生で、すごく蜂が好

きな方で、いままでいろんなところで養蜂をはじめては潰れてを繰り返して来た方なんです。どんどん異動で人がいなくなってしまうので、やる気がある人も他へ行ってしまうということが一つの原因でした。ここでは地域学校協働本部があるので、知識・ノウハウを残すことが出来ました。地域住民の参加もあり、当クラブを代表しては私がいつも行っています。

そしていよいよ養蜂の話になるのですが、その前にミツバチの一生ということについてお話しさせてください。ミツバチは卵が3日、幼虫が6日、さなぎが12日、成虫になったあとは、歳をとる毎に役割が変わっていきます。羽化したばかりの時は巣の掃除、その後は育児、そして巣作りをしたり蜂蜜づくり、蜂蜜づくりというのは、蜂蜜をとってきたばかりのものは、濃度が薄いので水分をとばすことによって濃縮してくんですけれども、そういうことを蜂蜜づくりといいます。これらの作業をする蜂を内勤蜂と呼ばれているんですが、巣の中の活動を1週目2週目やりま。成虫になって3週目によろやく外に出て蜜を集めたり花粉を集めたりする活動に移っていきます。正味1ヶ月くらいで蜂の一生は終わってしまいます。非常に短い一生なのですが、ただし冬の時はじっとして待っていますので、期間は延びます。

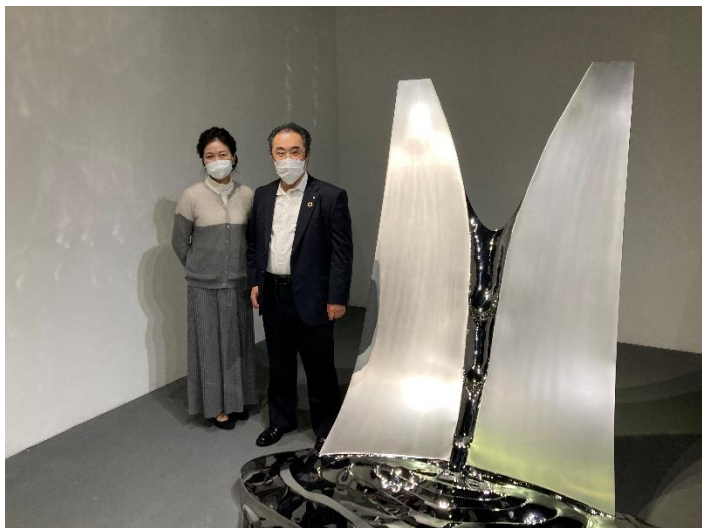
多摩中での奉仕プロジェクトの足跡は、この蜂は稲城にある養蜂場の蜂を購入しています。2月に学校と地域住民とで話し合いをして、3月にミツバチを購入して、養蜂業者が3月に視察をして、4月にはじめて蜂蜜を集めました。この活動を我々は聖蹟ハニープロジェクトと名前を付けました。4月にはじめて採蜜したのですが、ちょうど桜ヶ丘の桜が沢山咲く時期ですので、蜜にも桜の香りが凄く移るんですね。ですので、すごく良い蜂蜜がとれる時期です。聖蹟ハニープロジェクトと桜のイメージを広めて、聖蹟桜ヶ丘周辺を活性化させていきたいね、というところまで話しが膨らんでいます。7月の聖蹟桜ヶ丘あさがお市において、中学生達が蜂蜜を販売するというところまで活動は発

展しています。2022年の収穫量は合計114リットル、小瓶が50ミリリットルで500円で販売していますので、100万円以上の売上がありました。もしみなさんの中で興味をお持ちの方ありましたらお声かけください。

※シャーロットさんが参加してくれました！

◎閉会点鐘 副会長 菊池 敏

※10月14日、当クラブロタフェローである金景啓（キムキョンミン）博士の個展、行って参りました。



【今週の担当 入沢 修自】